

生きるための 文化芸術の 社会芸術 共社芸

障害と芸術に関する
政策提言に向けて

障害者の舞台芸術支援と支援人材の育成に関するプラットフォーム
Open Arts Network 第4回シンポジウム

2022
1.24 MON.

13:30～17:00 (開場12:50)

としま区民センター 小ホール 東京都豊島区東池袋1-20-10

申込み締切: 2021年12月19日(日) 入場料無料 定員: 50名(事前申込制) ※申込多数の場合は抽選

*字幕・手話通訳あり(ただし、セッション2の一部(約65分)に字幕サポートはありません。手話通訳をご希望の方はお知らせください。)

*後日セッション1のみ配信あり(配信無料、要事前申込、3月上旬配信予定)

GUEST PANELIST

柴田翔平(ストップギャップ ダンスカンパニー エグゼクティブ・プロデューサー) *ビデオ出演

中村美帆(静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科准教授)

奥出吉規(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室長)

川村 匡(文化庁地域文化創生本部総括・政策研究グループリーダー)

FACILITATOR/Open Arts Network MEMBER

長津結一郎(九州大学大学院芸術工学研究院助教)

吉野さつき(愛知大学文学部人文社会学科現代文化コースメディア芸術専攻教授)

Open Arts Network MEMBER

岸本匡史(公益財団法人としま未来文化財団施設管理課長)

鈴木京子(国際障害者交流センタービッグ・アイ副館長、プロデューサー)

南部充央(一般社団法人日本障害者舞台芸術協働機構代表理事)

平塚千穂子(シティ・ライツ代表、CINEMA Chupki TABATA代表)

廣川麻子(特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク理事長)

森田かずよ(ダンサー・女優、Performance For All People、CONVEY主宰)

ポスト2020、ポストコロナの芸術の文脈に、障害者は含まれるのでしょうか。また、これからも「福祉」と「芸術」の2つの側面をもつ障害者の芸術活動について、粘り強く思考し、対話と実践を繰り返す力があるのでしょうか。

2018年に開始した Open Arts Networkでは、これまで障害のある人々の芸術活動を取り巻く現状、課題や成果を共有し、様々なテーマにスポットをあてながら舞台芸術を捉え直すシンポジウムを企画し開催してきました。

開催4年目を迎える今年は、誰でも平等に文化創造を行える権利と、障害のある人々が、文化芸術の享受及び文化芸術活動へアクセスできる権利の両面から障害者施策を編み直し、多様性が“保障”される社会とは何かを、障害のあるアーティストや、法学、舞台芸術の関係者を交えて、様々な立場や視点からこれからの政策提言のあり方を考えます。

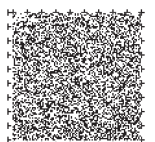


文化庁委託事業「障害者等による文化芸術活動推進事業
(文化芸術による共生社会の推進を含む)」



主催：文化庁／社会福祉法人 大阪障害者自立支援協会（国際障害者交流センター ビッグ・アイ）

後援：公益社団法人全国公立文化施設協会



この音声コードをスマホアプリ Uni-Voice で読み取ると音声情報が確認できます。

TIME TABLE

13:30-13:40 オープニング

13:40-14:40 セッション1:『障害のあるアーティストに必要な支援制度とは?』
～英国Access to Work を事例として～

芸術活動と働くことの両方において、今後どのような制度が必要でしょうか? 芸術活動にも適応される働くための支援制度、英国の「Access to work」を一つの例として取り上げ、後半のディスカッションにつなげます。

柴田翔平 (ビデオ出演) × 中村美帆 × 吉野さつき

14:40-14:55 休憩

14:55-16:55 セッション2 : ラウンドテーブル『これからの障害と芸術に関する政策とは?』

オリンピックを終えたこれからの日本において、障害と芸術に関するレガシーはどのように残され、その担い手たちには今後どのような指針が求められるでしょうか? セッション1の議論や我が国の政策の現状を踏まえ、来場者参加型でこれからの政策のあり方を考えます。

奥出吉規 × 川村匡 × 中村美帆 × 長津結一郎 × Open Arts Networkメンバー
*パネリスト、OANメンバー、来場者が一緒になって議論します。

16:55-17:00 まとめ

交通アクセス

JR他各線「池袋駅」(東口)より徒歩7分
東京都豊島区東池袋1-20-10



申込方法

web申込フォームの場合

ビッグ・アイウェブサイト (<https://big-i.jp>) 又はQRコードから、必要事項を記入の上、お申し込みください。

メール、郵送、FAXの場合 (締切日必着)

必要事項 (申込用紙参照) に加え、「1月24日イベント申込」と記入の上、下記お問い合わせ先までお送りください。



申込フォームへ

申込締切 | 2021年12月19日 (日)

申込先 | 「OAN第4回シンポジウム」係

お問合わせ | 〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1 国際障害者交流センター ビッグ・アイ

TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972 Eメール arts@big-i.jp ウェブサイト <https://big-i.jp>

※電話でのお問合わせは土日祝を除く、10:00 ~ 17:00 (12/28 ~ 1/3 は年末年始休業)

<お申込み・ご来場にあたってのお願い>

申込多数の場合は、締切後に主催者が申込者に代わり抽選を行い、結果をお知らせします。/ご入場の際に、検温と手指の消毒にご協力ください。37.5℃以上体温がある場合、体調がすぐれない場合はご来場をお控えください。/会場内ではマスクの着用をお願いします。マスクを着用でないお客様のご入場はお断りしております。/当日は記録・広報用に写真、配信用に動画撮影をいたします。撮影した写真は印刷物やビッグ・アイウェブサイトなどに掲載し、事業活動の周知のため使用させていただきます。また、報道機関による写真や動画撮影の可能性もあります。予めご了解いただけますようお願いいたします。/講演中のお客様による録音、録画、撮影などはご遠慮ください。/ご来場の際は、日本政府の新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) をご活用ください。

申込用紙

参加方法	希望する参加方法にチェックをつけてください。			<input type="checkbox"/> 会場参加を希望する		<input type="checkbox"/> 後日、動画配信の視聴を希望する (セッション1のみ)			
ふりがな							年齢	歳	
氏名									
住所	〒 —								
連絡先	TEL	()	—	FAX	()	—			
	Eメール							※@big-i.jpメールを受信できるように設定をお願い致します	
抽選結果連絡先	選択してください。							<input type="checkbox"/> 郵送を希望する	<input type="checkbox"/> メールを希望する
所属先 (会社・団体名等)									
障害の有無	選択してください。							<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
※あじと回答した方	◆該当する項目、希望するサポートを選択してください。								
	<input type="checkbox"/> 車いすで来場 <input type="checkbox"/> 補助犬の同伴あり <input type="checkbox"/> 手話通訳を希望する							<input type="checkbox"/> 介助者の同伴あり (介助者人数: 名)	
◆特記事項 (特に配慮を要する事項があれば、具体的にご記入ください)							<input type="checkbox"/> 字幕を希望する		
注意事項	・セッション2の一部 (約65分) については字幕サポートはありません。手話通訳が必要な方はお知らせください。								
							・介助が必要な方は、介助者のご同伴をお願いします。		

※お預かりした情報は、個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。新型コロナウイルスの感染防止対策に努めて参りますが、万が一感染症が発生した場合、本情報を必要に応じて保健所及び公的機関へ開示しますので、ご了承ください。

Open Arts Network | 鑑賞したい、利用したい劇場のアクセシビリティ状況がわかる検索サイトや多様な人が参加できる芸術活動情報などを掲載しています!!

WEBサイトはこちら! ▶

